

事務事業名	委託保育事業	所属部	健康福祉部	所属課	子育て支援課
政策名	総合計画(Ⅲ)地域で支えあうくらしづくり《保健・医療・福祉》	所属G	子育て支援グループ	課長名	田中 孝治
施策名	(22)子育て支援の充実	担当者名	宇都宮 雪乃	電話番号(内線)	0854-40-1044
基本事業名	(064)子育て環境の充実	予算科目	会計 款 項 目 中事業 011 115 110 115 011		委託保育事業

1 現状把握の部

(1)事業概要

①事業期間	②事業の内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	③開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか?)
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(16年度~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(年度~年度)	市外の公立保育所への入所申し込みがあった場合、委託先市町村に受入れの可否を照会。可能な場合は、協議、委託契約書締結などを経て入所承諾をし、保育料を徴収する。実施責任を負う雲南市が委託先の市町村に保育の実施に要する費用を支弁する。	合併前から各町村で事業実施あり。保護者の勤務状況等の理由により雲南市内の保育所へ入所せず、雲南市外の公立保育所へ入所する場合事業開始となる。

(2)トータルコスト

①事業費の内訳(概要)	事業費	単位	21年度(決算)	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(計画)	25年度(計画)	全体計画
・支弁額247千円 (松江市:恵曇保育所1名6月) (琴浦町:八橋保育園2名入所辞退)	財源内訳 国庫支出金 千円 県支出金 千円 地方債 千円 その他 千円 一般財源 千円 事業費計(A) 千円							
②延べ業務時間の内訳(業務の流れ等)	正規職員従事人数 人 延べ業務時間 時間 人件費計(B) 千円 トータルコスト(A)+(B) 千円							

(3)事務事業の手段・目的・上位目的及び対応する指標

手段	① 主な活動	指標名	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(目標)	25年度(目標)	最終(目標)
	23年度実績(23年度に行った主な活動) 委託先の市町村に実施費用を支弁する。 24年度計画(24年度に計画している主な活動) 委託先の市町村に実施費用を支弁する。	⑤ 活動指標							
		ア 委託料支払回数	回	31	27	6	6		
		イ 受入照会件数	件	4	3	3	3		
		ウ							
		エ							
		オ							

目的	② 対象(誰、何を対象にしているのか)	指標名	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(目標)	25年度(目標)	最終(目標)
	保育所入所基準に該当し、保護者の勤務地等の理由で雲南市内の保育所開所時間内で対応できない児童及び委託先市町村	⑥ 対象指標							
	ア 委託児童数	人	4	3	1	1			
	イ 委託契約市町村数	市町村	2	2	1	1			
上位目的	③ 意図(対象がどのような状態になるのか)	⑦ 成果指標							
	保護者の職業の多様化による勤務時間の変化に柔軟に対応し、子育てしやすい環境をつくる。	ア 委託児童の入所率	%	100	100	100	100		
	イ								
	ウ								
④ 結果(どんな上位目的に結び付けるのか)	⑧ 上位成果指標								
	子どもが心身ともに健やかに育つ。 子どもを持つ保護者が安心して子育てができる。	ア 子育てしやすいと感じる市民の割合	%	40.5	51.1	61			
	イ 自分の子どもが心身ともに健全だと感じる保護者の割合(子ども;18歳以上)	%	88.5	89.9	90				

(4)事務事業の環境変化、住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどうか変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	② この事務事業に関するこれまでの改革改善の取り組み経緯	③ この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
保護者の勤務状況の多様化、家族構成の変化により、市外の保育所への入所希望がある。但し、年度によりばらつきがある。	国の定める保育単価に準じ、保育費用を支弁する。	特に無し

事務事業名	委託保育事業	所属部	健康福祉部	所属課	子育て支援課
-------	--------	-----	-------	-----	--------

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】 ↷ 児童を安心して預けることができるということは、児童を保護する保護者が仕事をする場合の必要条件であり、貢献度は大きい。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】 ↷ 児童福祉法において、市町村が保育に欠ける児童を保育所に入所させることに定められている。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】 ↷ 児童の保育を行う場所であるとともに、子育てをする親の育児不安を解消し、安心して子どもを産み育てる社会環境を実現するための中心的な役割を担っている。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 ↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 ↷ 現状以上にない。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】 ↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】 ↷ 保護者の勤務先等の都合により市外へ入所しており、廃止・休止した場合市内保育所の開閉所時間、延長保育への影響がある。
効率性 評価	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ↷ 児童福祉法に基づく措置制度のため <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 ↷
	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷ 保育所の開所時間を延長する方法があるが、事業費削減にはならない。
公平性 評価	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方の工夫で延べ業務時間を削減可能か? 成果を下げずに正職員以外や委託でできないか?	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷ 児童福祉法に基づく措置制度のため(法定受託)
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 ↷ 市内の居住者で保育に欠ける児童については、すべて対象となっているため偏っていない。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																						
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	委託入所児童について、年々児童数が増加してきているので、待機児童が出ないように対応が必要となる。																						
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> (廃止・休止の場合は記入不要)			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×		低下		×	×
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		●	×																			
	低下		×	×																			
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 市内での受入れとなった場合、その受け入れ先の確保。→公立保育所運営事業内での対応																							